

●連載●



# 三陸ジオパーク

その1 ジオパークって何だろう?

問い合わせ 市商業観光課 観光おもてなし係 ☎27-8421

## はじめに

釜石には地元の人でも知らないような魅力がたくさんあります。その一つが釜石を含む三陸沿岸市町村からなる三陸ジオパークです。市民の皆さんが三陸ジオパークを知り、新しい釜石の魅力を発見してもらうために、連載で三陸ジオパークを紹介します。

その魅力の一つは先人から受け継がれてきた「歴史・文化」と、むき出しの地層などから「大地・地球」のつながりを体験できる点です。この魅力を体験できる場所を「ジオサイト」といい、釜石市内では6カ所が指定されています。

連載その1では、そもそも三陸ジオパークとは何なのか、その2、その3では市内の見どころを解説していきます。

## ジオパークとは

ジオパークとは、ジオ（大地・地球）とパーク（公園）とを組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味し、地球を学び、丸ごと楽しむことができる場所です。

ジオパークでは地質だけではなく、その土地に生きる動植物の生態系や人々の営み（歴史・文化）についても学ぶことができます。

現在、国内には日本ジオパーク委員会が認定した「日本ジオパーク」が40以上あります。

## 日本ジオパークに認定されるには?

日本ジオパークに認定されるためには地質的に価値があるだけでなく、生物学的、もしくは文化的な価値が必要です。また、しっかりとした運営体制が必要で、最近では防災や災害の伝承に関する取り組みも重視されています。

日本ジオパークの認定を受けても4年ごとに再審査を受ける必要があります。認定を受けて終わりではなく、よりよいジオパークを目指して活動していくことが大切です。

※三陸ジオパークは昨年再審査を受け、日本ジオパークとして再認定されました

## 三陸ジオパーク

私たちの住んでいる三陸にある三陸ジオパークは、青森県八戸市から宮城県気仙沼市までの沿岸16市町村からなり、その海岸線は約300kmにも及び日本一広大なジオパークです。平成25年に日本ジオパークの認定を受けました。

三陸ジオパークには、岩泉町の龍泉洞や宮古市の浄土ヶ浜など118のジオサイト（見どころとなる場所）があり、釜石には釜石鉱山、橋野鉄鉱山、根浜海岸、両石の津波記念碑、千丈ヶ滝、千畳敷（箱崎半島）の6カ所のジオサイトがあります。



釜石鉱山

発行 釜石市  
編集 広聴広報課



〒026-8686 釜石市只越町3-9-13 ☎22-2111 FAX 22-2686  
ホームページ http://www.city.kamaishi.iwate.jp/

三陸ジオパークのジオサイトの一つ  
「千畳敷(箱崎半島)」